

出題意図

2026 年度 博士課程前期 2 年の課程・冬期・一般選抜・専門科目・西洋史専攻分野

I. 西洋古代史に関する基本的知見を字句説明の形で問う問題です。設問は全 3 問で、古代ギリシア、古代ローマ、そして古代末期と、古代全体を俯瞰する知見が求められます。

II. ヨーロッパ中世史に関する基本的知見を論述形式で問う問題です。ここでは、いわゆる「カロリング帝国」の興亡から、初期中世の具体的政治過程を的確に整理・説明することが求められます。

III. ヨーロッパ近現代史に関する基本的知見を論述形式で問う問題です。ここでは、P. J. ケインと A. G. ホプキンズが提唱し、イギリス帝国史研究で強い影響力を行使している、いわゆる「ジェントルマン資本主義」論についての説明が求められます。

IV. 同時代史料ないし専門論文の読解を通じて、対象時期に関する基本的知見と、外国語の運用能力を見る問題です。(A) は I. S. ロビンソンによる 12 世紀の教皇史を概観する英語論文の一部、(B) は П. П. Третьак による露語版『ロシア革命史』の一節です。